

## 「令和3年度京都市交通事業経営評価（令和2年度実績に対する評価）」の 実施結果について

交通局では、「京都市行政活動及び外郭団体の経営の評価に関する条例」に基づく行政評価として、「京都市交通事業経営評価」（以下「経営評価」という。）の実施結果をとりまとめましたのでお知らせします。

### 1 経営評価について

#### (1) 目的

交通局では、将来にわたる安定的な事業運営を目指し、事業・財政の両面からの確かな経営判断を行っていくことを目的として、経営評価を実施しています。

#### (2) 評価手法

経営評価では、平成31年3月に策定した、令和元年度からの10年間を計画期間とする「京都市交通局市バス・地下鉄事業経営ビジョン」（以下「経営ビジョン」という。）に掲げる財政目標の達成に向けた事業面・財政面の進捗管理に重点を置いて、経営ビジョンに掲げた5つの事業戦略※ごとの各年度の取組項目の実施状況評価と、単年度目標の達成状況評価を基本に、評価項目ごとの状況を総合的に勘案し、総合評価を行います。

※ 経営ビジョンに掲げる5つの事業戦略のうち、「事業戦略1 安全運行の確保」と「事業戦略5 経営基盤の強化」については、市バス・地下鉄各事業で目標が異なり、それぞれで評価を行うことから、事業戦略の達成状況の評価対象は合計で7項目となります。

(1)取組の実施状況評価	(2)目標の達成状況評価	(3)総合評価
○が80%以上 <b>a</b>	達成 ----- 未達成	<b>A</b> ----- <b>B</b>
○が20%以上 80%未満 <b>b</b>	達成 ----- 未達成	<b>B</b> ----- <b>C</b>
○が20%未満 <b>c</b>	達成 ----- 未達成	<b>C</b> ----- <b>D</b>

## 2 評価結果について

評価結果は、「A」評価はなし、「B」評価が6項目、「C」評価が1項目、「D」評価はなしとなりました。

### 【事業戦略及びこれに基づく目標等並びに評価結果一覧】

5つの事業戦略	目標・目指す状態 (◆…評価項目)	令和2年度評価			(参考) 昨年度 総合評価
		取組 実施 状況	目標 達成 状況	総合 評価	
1 安全運行 の確保	◆市バス ・重大事故件数ゼロ ・走行10万キロ当たり有責事故件数について過去最小値を下回ることを継続	a	達成	B	A
	◆地下鉄 ・有責による運転事故及び輸送障害ゼロ	a	未達成	B	A
2 より質の 高い サービスの 提供	◆より質の高いサービスの提供 ・お客様の声としていただく 「礼状」の件数の増加 ・お客様満足度の向上 (「お客様満足度調査」における満足度向上)	a	未達成	B	A
3 利便性・ 快適性 の向上	◆利便性・快適性の向上 ・地下鉄・市バスお客様数1日80万人の実現 ・ICカード利用率 市バス：令和5年度40% 10年度50% 地下鉄：令和5年度70% 10年度80%	a	未達成	B	B
4 まちづくり への貢献	◆地下鉄・市バスお客様数1日80万人の実現 ◆CO2排出量の削減 (自動車分担率20%以下に貢献)	a	未達成	B	B
5 経営基盤 の強化	◆市バス 将来にわたり安定運営を継続していく ための財政目標の達成	a	達成	B	B
	◆地下鉄 将来にわたり安定運営を継続していく ための財政目標の達成	b	未達成	C	B

## 3 公表方法

令和3年9月22日(水)から、交通局ホームページにおいて、経営評価の結果を公開します。

【京都市交通局ホームページアドレス <https://www.city.kyoto.lg.jp/kotsu/>】